

## Peach Aviation の収益性(試算)

2015年9月1日

Peach が公表した資料をもとにして、2014 年度の収益性を概算試算してみた。

LCC で利益をあげるスキームが確立したようにみえる。

(参考として Vanilla の試算数値も表示)

今後、Jetstar-Japan の同様の数値・指標を注目して待ちたい。

## 1. 収益性と指標 (試算)

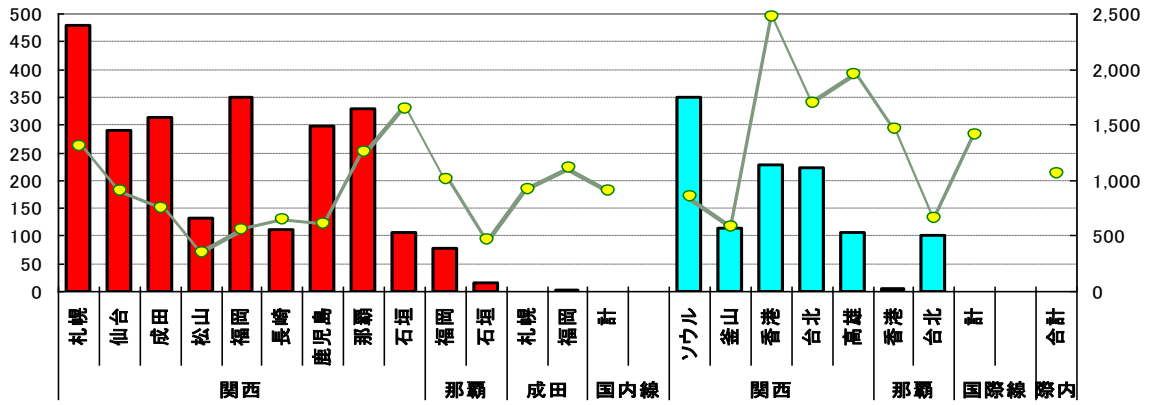
- ① 371 億円の収入に対して営業利益は 29 億円 (利益率 8%)。  
数値的には前年とほぼ同様 (若干向上) であり、収益をあげる事業構造が確立したと考えられる。
- ② 発着ベース (距離は約 1000km) の旅客単価は 10,200 円でほぼ前年並み。  
座席コストは 8,100 円で、わずかながら上昇。  
(平均距離が 1,500km を超える Vanilla との比較では、座席コストが大幅に低く、  
旅客単価はほぼ同レベル)
- ③ 搭乗率は 84 ⇒86%と向上したことが、利益率 Up に繋がった。
- ④ 距離ベース (千 km 当り) でみると、旅客単価は約 9,600 円でほぼ前年並み (Vanilla より大幅に高い)。 座席コストは約 7,600 円で前年並み。  
搭乗率は 85 ⇒86%と向上した。

《図表1》 収支と指標		Peach			(参考)
		2013.4~ 2014.3	2014.4~ 2015.3		Vanilla
					2014.4~ 2015.3
売上高	百万円	30,595	37,141		12,316
営業費用	百万円	28,588	34,276		16,072
営業利益	百万円	2,007	2,865		-3,756
(率)		7	8		-30
(発着ベース指標)					
旅客数	千人	2,998	3,631	121	1,141
座席数	千席	3,581	4,230	118	1,447
搭乗率	%	84	86		79
平均距離	km	1,062	1,071	101	1,548
旅客単価	円/人	10,205	10,228	100	10,792
座席コスト	円/席	7,984	8,102	101	11,105
B/E	%	78	79		103
(距離ベース指標)					
旅客 <sup>千</sup>	百万 <sup>千</sup>	3,183	3,889	122	1,767
座席 <sup>千</sup>	百万 <sup>千</sup>	3,764	4,512	120	2,202
搭乗率	%	85	86		80
収入 <sup>千</sup> 単価	円/千 <sup>千</sup>	9,613	9,550	99	6,970
座席 <sup>千</sup> コスト	円/千 <sup>千</sup>	7,596	7,597	100	7,299
B/E	%	79	80		105

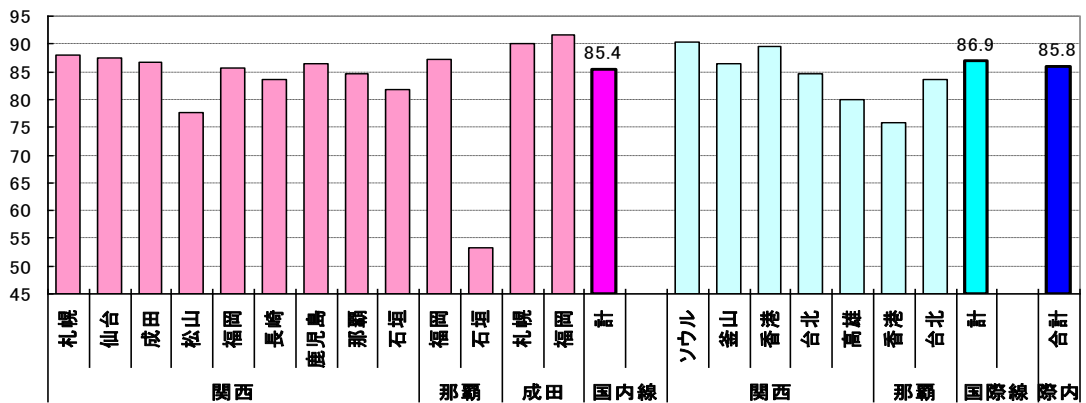
## 2. 路線別実績 (試算)

- ① 国内線 13 路線のうち、関西発着 6 路線で旅客数が 20 万人を超えた。  
国際線 7 路線のうち、3 路線の旅客数が 20 万人を超えた。
- ② 国内線では 1,000km 未満の路線が多い。  
国際線の最長路線は関西＝香港路線で、約 2,500km である。
- ③ 搭乗率は軒並み 75% を超え、国内線平均が 85%、国際線は 87% である。  
まだ実績期間が短いものの、成田発着 2 路線が 90% に達している。成田を基地とする他の LCC 2 社よりも競争力が強いことが推定される。
- ④ 国内線の 5 路線の搭乗率を大手 2 社と比べると、Peach は全ての路線で、圧倒的に高い。

《図表2》路線別旅客数（千人）と距離（km；右目盛り）



《図表3》路線別搭乗率（%）



《図表4》主要国内線の搭乗率比較（%）

	Peach	ANA		JAL	
	関西	関西	伊丹	関西	伊丹
札幌	88	71	78	70	79
仙台	87				70
福岡	86	50	68		73
鹿児島	87				58
那覇	85	73	76	70	67

以上